

成田赤十字病院

(初期臨床研修をお考えの方へ)



成田赤十字病院

日本赤十字社

地元～成田市の紹介

住みやすさランキング2018**全国10位**(東洋経済ONLINE参照)

成田市は、水と緑の豊かな自然環境の中に“**静**”と“**動**”の二つの顔を持っています。
“**静**”の顔は、年間数多くの参詣客を集める成田山です。



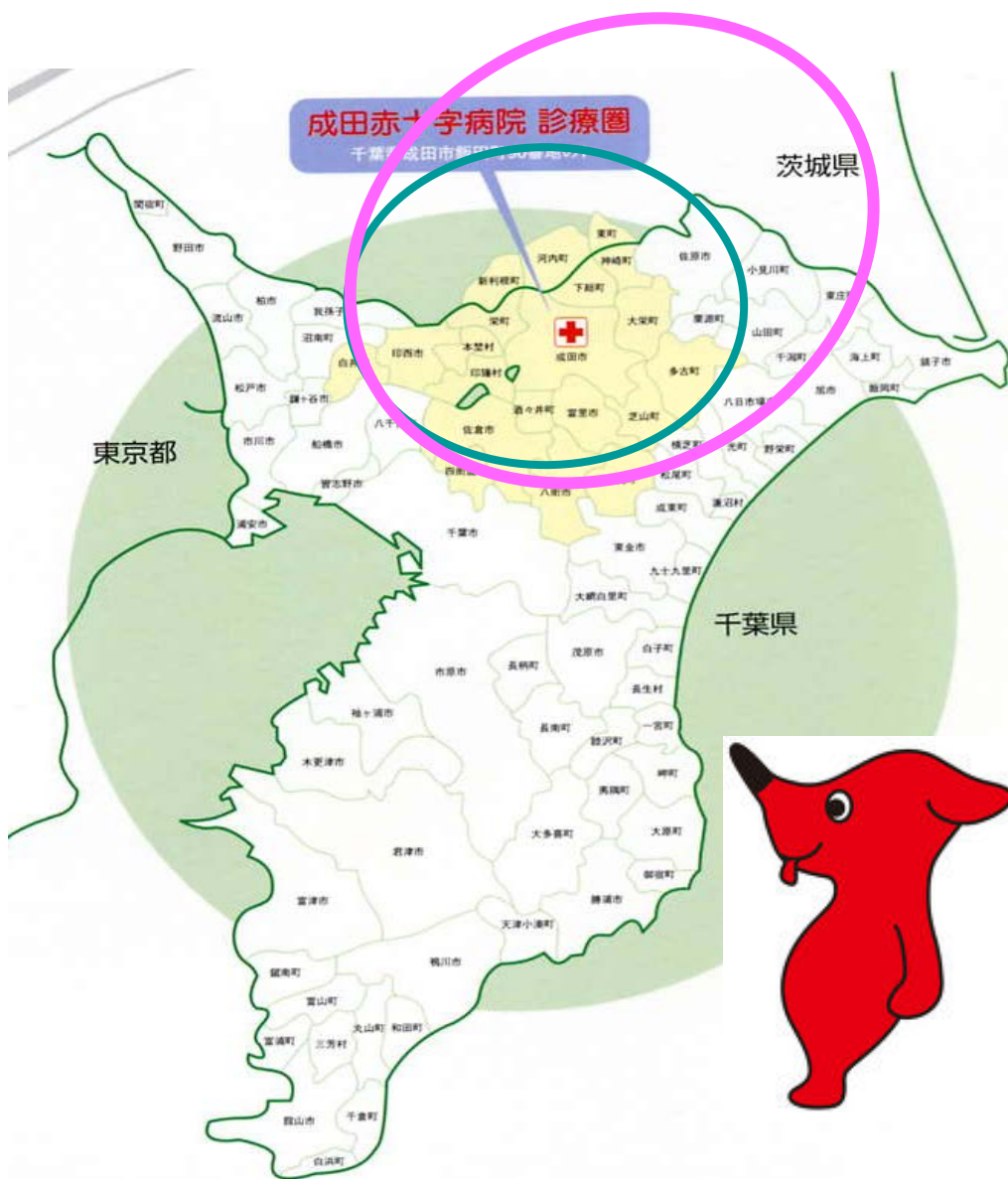
一方、“**動**”の顔は、日本の空の表玄関・成田国際空港です。

成田国際空港は、昭和53年5月20日に開港しました。

航空機が1日平均699便離着陸し、空港旅客数は年間4000万人を超えており、名実ともに日本の空の表玄関です。



成田赤十字病院診療圏の特長



- ・診療圏 91万人
- ・地域の特徴

●東京都心への通勤圏
50km・1時間強
＝首都圏の医療

●周辺に広域の農村
＝地方としての地域医療

●成田国際空港に隣接
＝国際医療

以上3つの要素を併せ持つ病院

開設年月日
昭和23年2月1日

県内唯一の赤十字病院

職員数（常勤）

全 体	:	1 362人
医 師		177人
研修医		37人
看護師		735人

許可病床数

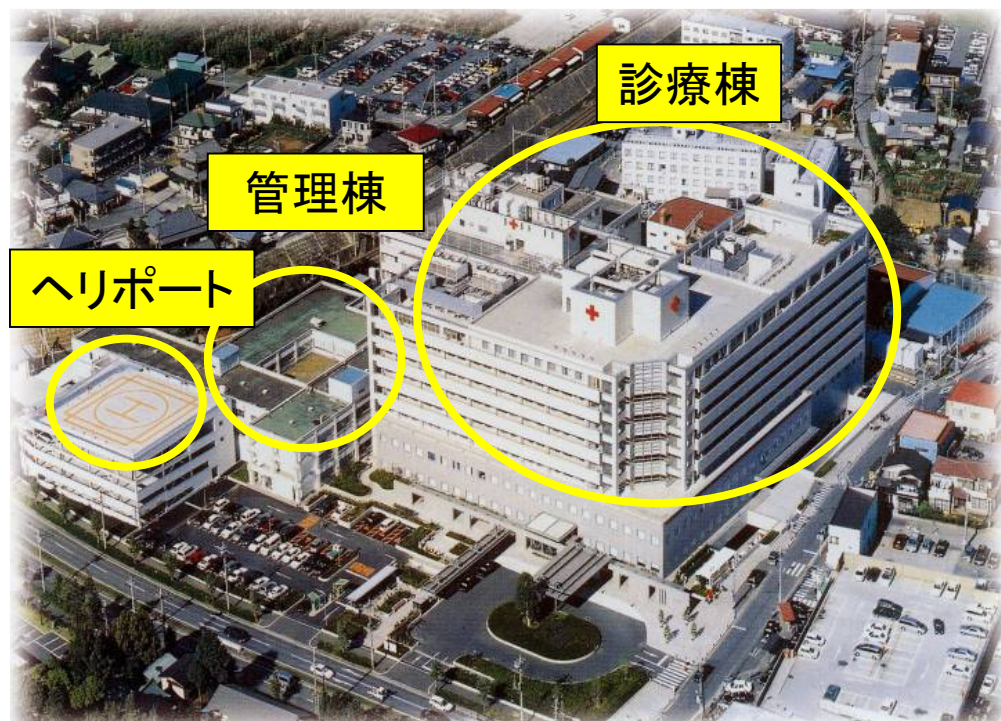
716床（実働705床）

（一般659床、精神50床、感染7床）

診療科

32診療科

（内科、小児科、精神神経科、脳神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、
心臓血管外科、歯科口腔外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、
呼吸器外科、小児外科・・・・・・）





平均入院患者数 : 560.0人
※延べ : 204,390人

病床利用率 : 79.4%

平均外来患者数 : 1069.4人
※延べ : 258,788人

手術件数 : 14,456件

救急患者数 : 19,684人
一日平均 : 53.9人

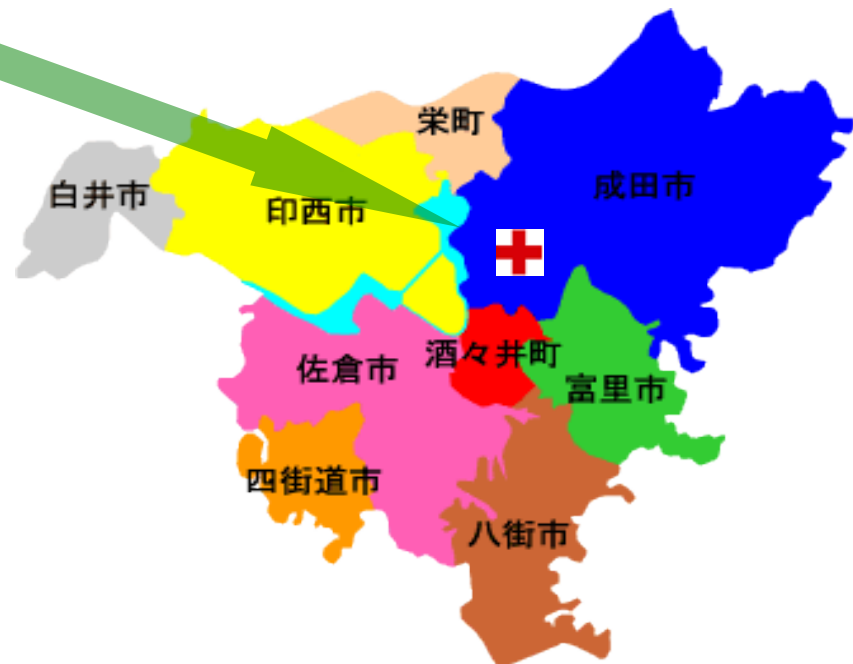
来院方法

- ・ドクターヘリ 21人
- ・救急車 7,422台

(令和2年度実績)

診療圏と病院機能

- ・ 県北総地域の中核病院
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 救命救急センター
- ・ 災害拠点病院
- ・ 地域周産期母子医療センター etc



成田赤十字病院の特徴

病院の特徴 ①

様々な疾患や病態を多く経験

32診療科、716病床を有する地域の基幹病院であり、あらゆる急性期疾患、慢性期疾患診療を行っています。



病院の特徴 ②

7つの機能別センター

- ・ 地域周産期母子医療センター
- ・ 脳卒中センター
- ・ 脊髄・脊椎センター
- ・ アレルギー膠原病センター
- ・ 千葉大学肺がん治療センター
- ・ 造血細胞移植センター
- ・ 臨床研究センター



病院の特徴 ③

救急患者：年間約2万人(1日約54人)

地域の救急医療の拠点となり、救命救急センターの第三次救急指定病院として、重篤救急患者の受入れを24時間365日行っています。



病院の特徴 ④

成田国際空港に隣接しているため、
外国人を含めた様々な疾患を経験

新型インフルエンザ患者受入



航空機乱気流事故

外国人患者数 : 5,324人／年
(約51人に1人)



病院の特徴 ⑤

国内医療救援活動



※北海道地震災害:8名を派遣

- H16.10 新潟県中越地震
- H19. 7 新潟県中越沖地震
- H20. 6 岩手・宮城内陸地震
- H22. 4 アイスランド火山による
空港停留者対応
- H23. 3 東日本大震災
- H27. 9 茨城県台風18号大雨災害
- H28. 4 熊本地震災害
- H30. 9 北海道胆振東部地震
- R 1. 9 令和元年房総半島台風



※熊本地震災害:27名を派遣



※東日本大震災:182名を派遣



※令和元年房総半島台風
19名を派遣

初期臨床研修プログラム概要

当院の研修プログラムは卒後2年間で必ず身に付けておくべき事は何か？安全で効果的な研修を行うには何が必要か？という観点に立って作成しています。

プログラム(令和4年4月開始)

- ・一般コース 16名
- ・小児科コース 2名
- ・産婦人科コース 2名

＊地域医療研修協力施設:国保多古中央病院、なのはなクリニック、つかだファミリークリニック

協力型臨床研修病院としての臨床研修医受入れ

- ①千葉大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム A・B・産婦人科
(各プログラム1年間当院で研修)
- ②千葉県立病院群研修プログラム 自由選択・内科系重点・外科系重点
(各プログラム1ヶ月間当院で産婦人科研修)

プログラム概要(一般コース)

ローテイト方式

1 年 次	内科6ヶ月(1)、外科2ヶ月、救急集中治療科3ヶ月、選択科1ヶ月(2)(順不同)
2 年 次	必修科(小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神神経科1ヶ月、地域医療1ヶ月(3)、麻酔科2か月)、 選択科6ヶ月(4)(順不同)

- (1) 消化器内科、**血管内治療内科**、糖尿病内分泌代謝内科・腎臓内科、血液腫瘍科・**腫瘍内科**、脳神経内科、総合内科の中から3科選択し、各2ヶ月研修する。
- (2) 1年次の選択科1か月で、必修科(麻酔科・地域を除く)を研修することも可能。
- (3) 国保多古中央病院1ヶ月または、なのはなクリニック及びつかだファミリークリニックを各2週間合計1ヶ月研修する。
- (4) 内科(脳神経内科含む)・精神神経科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・救急集中治療科・新生児科・呼吸器外科・**感染症科**の中から、選択し研修する。

<ローテイト一例>

1年次	*	内科 2ヶ月	救急集中治療科 3ヶ月	内科 2ヶ月	外科 2ヶ月	内科 2ヶ月	選択科 1ヶ月
2年次	小児科 1ヶ月	産婦人科 1ヶ月	精神科 1ヶ月	地域 1ヶ月	麻酔科 2ヶ月	選択科 6ヶ月	

* はオリエンテーションとコメディカル研修

プログラム概要(小児科コース)

ローテイト方式

1年次	小児科2ヶ月、内科4ヶ月(1)、外科2ヶ月(2)、救急集中治療科3ヶ月、選択科1ヶ月(3)(順不同)
2年次	必修科(内科2ヶ月(1)、産婦人科1ヶ月、精神神経科1ヶ月、地域医療1ヶ月(4)、麻酔科2ヶ月)、選択科5ヶ月(順不同)

- (1) 消化器内科、血管内治療内科、糖尿病内分泌代謝内科・腎臓内科、血液腫瘍科・腫瘍内科、脳神経内科、総合内科の中から3科選択し、各2ヶ月研修する。
- (2) 千葉大学医学部付属病院の小児外科を研修することも可能。
- (3) 1年次の選択科1ヶ月で、必修科目(麻酔科・地域を除く)を研修することも可能。
- (4) 地域医療の分野では、国保多古中央病院にて1ヶ月間研修する。

<ローテイト一例>

1年次	*	小児科 2ヶ月	内科 2ヶ月	外科 2ヶ月	内科 2ヶ月	救急集中治療科 3ヶ月	選択科 1ヶ月
2年次		内科 2ヶ月	産婦人科 1ヶ月	精神科 1ヶ月	地域 1ヶ月	麻酔科 2ヶ月	選択科 5ヶ月

* はオリエンテーションとコメディカル研修

プログラム概要(産婦人科コース)

ローテイト方式

1 年 次	内科6ヶ月(1)、外科2ヶ月、救急集中治療科3ヶ月、選択科1ヶ月(順不同)
2 年 次	必修科(産婦人科3ヶ月、新生児科1ヶ月、小児科1ヶ月、精神神経科1ヶ月、麻酔科2か月、地域医療1ヶ月(2))選択科3ヶ月(3)(順不同)

- (1) 消化器内科、血管内治療内科、糖尿病内分泌代謝内科・腎臓内科、血液腫瘍科、脳神経内科、総合内科の中から3科選択し、各2ヶ月研修する。
- (2) 1年次の選択科1か月で、必修科(麻酔科・地域を除く)を研修することも可能。
- (3) 国保多古中央病院1ヶ月または、なのはなクリニック及びつかだファミリークリニックを各2週間合計1ヶ月研修する。
- (4) 内科(脳神経内科含む)・精神神経科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・救急集中治療科・新生児科・呼吸器外科・感染症科の中から、選択し研修する。

<ローテイト一例>

1年次	*	内科 2ヶ月	救急集中治療科 3ヶ月		内科 2ヶ月	外科 2ヶ月	内科 2ヶ月	選択科 1ヶ月
2年次		産婦人科 3ヶ月	新生児科 1ヶ月	小児科 1ヶ月	精神科 1ヶ月	地域 1ヶ月	麻酔科 2ヶ月	選択科 3ヶ月

* はオリエンテーションとコメディカル研修

研修システムの特徴

- 1 32診療科・716病床を有する地域の基幹病院であり、あらゆる急性期疾患、慢性期疾患の診療を行っている。
- 2 3次救命救急センターを有し、年間7,000台以上の救急車を受け入れている。
- 3 成田国際空港に隣接しているため、外国人を含めた様々な疾患も経験できる。



国際診療科が設置され、サポート体制がある
JMIP(外国人患者受入れ医療機関認証)を取得・更新

国際診療科（ホームページより）

特色

- 近年、訪日・在日外国人数が急激に伸びていることを受けて、国際空港に隣接する当院を受診される外国人患者さんの数も急増しています。
当院では、以前より外国人患者さんを多数受け入れてきた実績がありますが、今後更に増えていくと思われる状況をふまえ、2017年度に国際診療科を開設いたしました。
- 当院を受診される外国人患者さんが安心して受診・療養できるよう、またスタッフも不安なく医療を提供できるよう、受入れシステムの見直しと環境整備を行い、医療通訳・翻訳サービスなどのみならず、外国人患者さんの診療や、保険の問題、帰国に関するサポートなど、国際医療に関連して院内で生じる様々な問題の窓口となっています。
- また、当院の基本方針である「国内外の医療救援活動に積極的に参加する」という使命の下、海外での災害救援や復興支援、開発途上国への保健衛生事業等への要員の派遣や育成を行っています。
- 当院から派遣された職員の活動や知識、経験を伝える勉強会や、高い専門技術、語学力、コミュニケーション能力等を養うための研修会など、職員が積極的に海外救援活動にいくための支援も行っています。

研修システムの特徴

4 国内4か所の特定感染症指定医療機関である。



感染症科が力を発揮

5 各科認定医・専門医資格が取得できる。

6 数百名の初期・後期研修医、認定医・専門医育成の実績がある。

7 千葉県唯一の赤十字病院である。



災害救護班としての救護訓練あり

感染症科

- 日本で4か所の特定感染症指
医療機関の中の感染症科
- 「臨床感染症科」として感染症
プロが全科の感染症について
アドバイス、コンサルテーション
をする。
- ★初期研修2年次、あるいは後期研修と
してローテートできる(全科の感染症の考
え方を習得できる)



研修システムの特徴

- 4 国内4か所の特定感染症指定医療機関である。



感染症科が力を発揮

- 5 各科認定医・専門医資格が取得できる。

- 6 数百名の初期・後期研修医、認定医・専門医育成の実績がある。

- 7 千葉県唯一の赤十字病院である。



災害救護班としての救護訓練あり

病院の特徴 ⑤

国内医療救援活動



※北海道地震災害:8名を派遣

- H16.10 新潟県中越地震
- H19. 7 新潟県中越沖地震
- H20. 6 岩手・宮城内陸地震
- H22. 4 アイスランド火山による
空港停留者対応
- H23. 3 東日本大震災
- H27. 9 茨城県台風18号大雨災害
- H28. 4 熊本地震災害
- H30. 9 北海道胆振東部地震
- R 1. 9 令和元年房総半島台風



※熊本地震災害:27名を派遣



※東日本大震災:182名を派遣



※令和元年房総半島台風
19名を派遣

勉強会・研修会・発表会

- ・勉強会・研修会を開催し、基本的な知識・診療能力の確認を行う。
- ・院内で開催されるCPCや研究発表会、学術集会等への参加を義務付け。



院内研究発表会



各科勉強会(週1回)



ICLSコース(蘇生トレーニング)



CPC

勉強会 (4月の一例)

4月1日(新任研修)

- ・当院の目標と課題及び医師としての業務
- ・看護部の紹介
- ・院内感染対策について
- ・患者接遇とインフォームドコンセント
- ・電子カルテ運用上の注意
- ・医療事故防止対策とリスクマネジメント
- ・輸血等血液製剤の使用と管理について
- ・救急医療について
- ・薬剤の適正使用と管理について
- ・医療情報システム研修

4月以降毎週(各科診療部研修)

- ・輸液の基本(腎臓内科)
 - ・心電図の基本(血管治療内科)
 - ・肺の画像診断(放射線科)
 - ・輸血の基本(血液腫瘍科)
 - ・電解質補正(感染症科)
 - ・腹部レントゲン、CTの読影(外科)
 - ・救急の画像診断(放射線科)
 - ・血液ガスの解釈(感染症科)
 - ・経腸栄養、経静脈栄養の基本(外科)
- (次頁詳細あり)

4月(外科系当直講座)

- ・整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、産婦人科
外科、皮膚科、形成外科、脳神経外科

4月(コメディカル等研修)

- ・検査部、看護部、薬剤部、医療安全、感染対策など。

令和3年度通年勉強会スケジュール

- 4月28日 輸液の基本
- 5月6日 心電図の基本
- 5月14日 虐待対応
- 5月19日 輸血の基本
- 5月26日 電解質補正
- 6月3日 腹部レントゲン、CTの読影
- 6月9日 肺の画像診断
- 6月16日 頭痛
- 6月21日 救急の画像診断
- 6月24日 経腸栄養、経静脈栄養の基本
- 6月30日 胸痛
- 7月7日 血液ガスの解釈
- 7月14日 喘息・COPDの初期対応と管理
- 7月21日 動悸、不整脈
- 7月28日 意識障害
- 8月18日 めまい・脳梗塞
- 8月20日 心不全
- 8月25日 糖尿病救急
- 9月1日 痙攣
- 9月8日 救急外来における開放骨折のみかた
- 9月22日 多発外傷
- 9月29日 小児の呼吸困難
- 10月8日 泌尿器系救急
- 10月13日 救急外来における一般骨折のみかた
- 10月20日 眼科救急
- 10月27日 小児の腹痛
- 11月3日 耳鼻科救急
- 11月10日 腫瘍救急
- 11月17日 敗血症
- 11月24日 消化管出血の初期対応
- 11月26日 小児の痙攣
- 12月8日 熱傷の初期対応
- 12月13日 産婦人科救急
- 12月15日 内分泌救急
- 1月12日 気管切開、カニューレ交換
- 1月19日 抗凝固薬、抗血小板薬
- 1月26日 人工呼吸器
- 1月28日 皮疹の見方
- 2月2日 外国人診療の注意事項
- 2月9日 泌尿生殖器の画像診断
- 2月16日 関節所見のみかた
- 2月23日 血液浄化方法の基本
- 3月2日 せん妄、不眠への対応
- 3月14日 妊婦・授乳婦への投薬
- 3月16日 RI
- 3月23日 鎮静・鎮痛
- 3月30日 軟膏の使い方



臨床研修修了後の進路

平成16年度～令和2年度修了者 230名

2年間の研修を終えて・・・それぞれの道へ

他施設
後期臨床研修医



当院
後期臨床研修医



身分及び待遇	成田赤十字病院非常勤嘱託職員 【給与等】 ・1年次300,000円(夏・冬期書籍代50,000円支給) ※平均年収:4,883,958円 ・2年次350,000円(夏・冬期書籍代50,000円支給) ※平均年収:8,160,205円 ・住居手当:28,500円(限度額)……………(成田市の平均家賃60,000円弱) ・通勤手当あり。(車通勤可。駐車場料金4,000円/月) ・扶養手当あり。 ・日当直手当あり。(日直:27,000円/1回、当直:30,000円/1回。1年次半額)
社会保険	健康保険・厚生年金・雇用保険等に参加
福利厚生	研修医室有(各研修医にデスク用意)、 年次有給休暇(各年次で20日付与)、その他特別休暇など。
応募条件	マッチングシステムに参加し、第116回医師国家試験合格見込であること。
選考方法	小論文 面接 (詳細は当院ホームページ参照)
連絡先	成田赤十字病院 事務部 人事課 臨床研修担当 〒286-8523 千葉県成田市飯田町90-1 TEL : 0476-22-2311 FAX : 0476-22-6477 E-mail : jinji@naritasekijyuji.jp

今年のマッチングについて

試験日

下記のいずれか1日を選択

8月22日(日)

8月28日(土)

内容

小論文(1時間)

面接15分

病院見学のご案内

①まずは当院のHPにアクセスし、
右下の「採用情報について」をクリックする。

 日本赤十字社 成田赤十字病院

受付時間 午前8時30分～午前11時まで
休診日 土・日・祝・年末年始 12/29～1/3・創立記念日 5/1
Japanese Red Cross Society

当院について ご利用案内 診療科・部門紹介 交通案内



外来受診される方

ひらく



入院・ご面会の方

ひらく



健診を受診される方

ひらく



医療関係者の方

ひらく

お知らせ
NEWS

すべて 患者さまへ 医療関係者さまへ 採用情報

- お知らせ 2019年5月22日 外来担当医師不在表（6月分）を更新しました
- お知らせ 2019年5月15日 外来担当医師不在表（5月分）を更新しました
- お知らせ 2019年5月2日 康しん（はしか）対応についてのお問い合わせ
- お知らせ 2019年4月23日 防災につながる企画書を千葉県赤十字会館で開催しています
- お知らせ 2019年4月10日 電子カルテシステムの更新について

すべてのお知らせ一覧を見る

看護部のご紹介

講演・講習のご案内

採用情報について

②次に「研修医」ボタンをクリック



③最後に「病院見学のご案内」からお申し込みください。

令和2年度採用 初期臨床研修医募集について

- 令和2年度採用 初期臨床研修医 募集要項
- 令和2年度採用 初期臨床研修医 応募・選考に関する資料

メッセージほか

- 初期研修医からのメッセージ (3231キロバイト)
- 勉強会・研修会の様子 (3798キロバイト)

病院見学のお申し込み

病院見学は随時受け付けております。

現医学部6年生（令和元年度 マッチング参加者）の病院見学の受け入れは7月26日（金曜日）までとさせていただきます。

病院見学のご案内



YouTubeで 病院紹介動画を 公開中

です。

成田赤十字病院 YouTube



Facebookも

更新

しています。

成田赤十字病院 Facebook



32



成田赤十字病院
@naritajrc.or.jp・病院

+ ボタンを追加